

憲法 9 条が現実政治で生きた力を発揮

大阪メーデー集会での山下よしき副委員長・参院議員のあいさつ(大要)

おはようございます。日本共産党副委員長・参院議員の山下よしきです。

●朝鮮半島での平和の流れが前進

ことしのメーデーを私たちは、内外ともに大きく激動する中で迎えました。先日行われた南北首脳会談、よかったですね。金正恩委員長が、北朝鮮指導者として初めて韓国側に足を踏み入れました。文在寅韓国大統領は、そのことによって「板門店分断の象徴ではなく、平和の象徴になった」と述べました。両首脳が署名した「共同宣言」では、完全な非核化で、核のない朝鮮半島を実現すること、朝鮮戦争の終結を今年中に宣言すること、が合意されました。大阪とも歴史的につながりの深い朝鮮半島で、平和の流れが大きく前進したことを心から歓迎したいと思います。



南北首脳会談の成功は、国と国とのもめごとは戦争でなく、話し合いで解決するという日本国憲法9条が、現実の国際政治で生きた力を発揮することを示してくれました。憲法 9 条を変えて「海外で戦争する国」になるのではなく、憲法 9 条を高く掲げて国際政治で積極的な役割を果たす国になることこそ、世界の人々が私たちに期待していることではないでしょうか。

●国民の意思に応える新しい政治を

韓国の文在寅大統領が大きな役割を果たされた背景には、ロウソク革命と呼ばれた民主革命がありました。一昨年の冬、光化門広場でロウソクの灯火を掲げた韓国の国民は、憲法の手続きを通して、国民の意思を裏切った大統領を罷免しました。その民主主義のうねりの中から生まれたのが文大統領です。国民の強い支持があったからこそ、ああいう思い切った外交ができたのだと思います。韓国に続いて日本でもやろうではありませんか。国民の意思に応える新しい政治を、国民みんなの力でつくろうではありませんか。

●異常事態打開の責任は政府・与党に

隠ぺい、ねつ造、圧力、おまけにセクハラ、安倍政権のもとで日本の政治は前代未聞の異常事態に陥っています。そもそも政府が提出する文書やデータに信頼がもてなければ、国会審議の前提がありません。事態を打開する責任は、全て政府・与党にあります。森友疑惑・加計疑惑、総理夫妻が直接関わった国政私物化疑惑を真相究明するために、関係者の証人喚問を行うのはあまりにも当然ではないでしょうか。(そうだ、拍手) 改ざん前の文書、隠ぺいされた文書をすべて公表する、これも当たり前のことではないでしょうか。ところが政府与党は、こうした野党の要求にまったく耳をかそうとしません。それどころか、「働かせ方」大改悪法案の審議入りまで強行しました。まさに“毒食らわば皿まで”、言語道断といわなければなりません。

●「働かせ大改悪」必ず阻止を

みなさん、裁量労働制に関わるデータをねつ造し、野村不動産の過労死を隠した政府に「働き方」を語る資格などないのではないのでしょうか。高度プロフェSSIONAL制度という名で一切の労働時間規制をはずす、月 80 時間の過労死ライ

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 21 (2018.5.2)

ンを超える残業を合法化する、こんなことを許せば、長時間労働がさらに蔓延し、過労死が激増することは目に見えています。「毎日毎日、娘の後を追って死ぬことばかり考えていました」—長時間労働が原因で過労死したNHK記者・佐戸未和さん・享年32歳のお母さんの言葉です。若い労働者、働き盛りの労働者の命と健康を守るために、すべての労働組合、すべての労働者とその家族が団結・連帯して、「働かせ方」大改悪の法案を何としても阻止しようではありませんか。

●ウソの強権の政治に引導を

安倍政権は、ことごとく行き詰まっています。アベノミクスは完全に破綻し、格差と貧困が広がっています。安倍外交は、極端なアメリカ言いなりと軍事一辺倒で、世界から置き去りにされています。もうこんな政治は終わりにする、ウソと強権の政治に引導を渡すときが来たのではないのでしょうか。

(拍手) そのために、市民と野党の共闘をいっそう発展させましょう。

この間、国会では野党共闘がうんと前進しています。先日、6野党の国対委員長会議が開かれ、さまざまなテーマで野党共同のヒヤリングが行われています。森友徹底追及のど真ん中に座っているのが、われらがたつみコータロー参院議員だということも紹介しておきたいと思います。野党共闘では大きな成果がありました。裁量労働制のデータねつ造を認めさせ、対象業務の拡大を法案から削除させることができました。森友疑惑では、佐川前国税庁長官の証人喚問を実現することができました。「原発ゼロ法案」を4野党で共同提案することもできました。市民と野党の共闘をさらに発展させ、安倍政権を総辞職に追い込もうではありませんか。

●参院選で与党・補完勢力を少数に

来年の参議院選挙では、本気の野党共闘を成功させて、自民・公明とその補完勢力・維新を少数に追い込み、総選挙で野党連合政権をつくる扉をひらきましょう。私たち日本共産党は、その先頭に立って知恵と力をつくすことをお約束し、連帯のごあいさつといたします。共にごがんばりましょう。ありがとうございました。